



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年7月31日

上場会社名 ヨシコン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5280 URL <https://www.yoshicon.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田尚洋
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 杉本貞章 (TEL) 054-205-6363
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	3,137	16.3	220	—	375	501.6	251	616.8
2020年3月期第1四半期	2,697	△13.8	△90	—	62	791.4	35	168.8

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 279百万円(738.9%) 2020年3月期第1四半期 33百万円(100.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	34.42	—
2020年3月期第1四半期	4.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	37,545	20,024	53.3
2020年3月期	37,261	20,073	53.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 20,003百万円 2020年3月期 20,053百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	45.00	45.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	0.00	—	45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,000	△43.9	300	△62.6	500	△51.2	350	△47.6	47.96
通期	19,000	8.6	1,500	106.0	2,000	67.0	1,350	29.9	184.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	8,030,248株	2020年3月期	8,030,248株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	732,407株	2020年3月期	732,407株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	7,297,841株	2020年3月期1Q	7,215,141株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、極めて厳しい状況で推移しました。世帯への現金給付や企業への資金繰り支援など大規模な経済政策を導入し、消費・投資マインドの持ち直しを図ろうとするものの、第2波への懸念など新型コロナウイルス感染症拡大の影響や企業の大型倒産等への懸念に加え、海外経済でも新型コロナウイルス感染症の大流行や米中貿易摩擦の長期化などもあり、極めて不透明な状況で推移しました。

当社グループが属する不動産業界も極めて厳しい状況で推移しましたが、このような環境下にあつて当社グループの不動産事業分野では、在庫分譲マンションの早期完売や分譲宅地などの販売を強化し、市場ニーズにマッチした購入側にメリットのある企業誘致案件の営業活動を引き続き積極的に推進してまいりました。また、投資法人の運用に必要な許認可の取得に向けての取組みを進めるなど、不動産証券化事業の活動を一層強化してまいりました。

建設土木業界に属するマテリアル事業分野では、工場やラインの集約化及び製品群の絞り込みなど生産性の向上や原価低減に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は31億37百万円（前年同四半期比16.3%増）、営業利益は2億20百万円（前年同四半期は90百万円の営業損失）、経常利益は3億75百万円（前年同四半期比501.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億51百万円（前年同四半期比616.8%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①レジデンス事業

レジデンス事業におきましては、在庫分譲マンションの引渡しが進み、在庫が減少したことや広告宣伝費が減少したことにより、減収増益となりました。

この結果、売上高は2億47百万円（前年同四半期比52.8%減）、セグメント利益(営業利益)は24百万円（前年同四半期は0百万円のセグメント損失）となりました。

②不動産開発事業

不動産開発事業におきましては、分譲宅地や事業用地の引渡しが実現したことなどにより大幅な増収増益となりました。

この結果、売上高は18億6百万円（前年同四半期比277.6%増）、セグメント利益(営業利益)は3億93百万円（前年同四半期は7百万円のセグメント損失）となりました。

③賃貸・管理等事業

賃貸・管理等事業におきましては、新規の工事請負売上があったものの、賃貸事業での賃料減免の影響などもあり、増収減益となりました。

この結果、売上高は5億8百万円（前年同四半期比3.1%増）、セグメント利益(営業利益)は27百万円（前年同四半期比60.2%減）となりました。

④マテリアル事業

マテリアル事業におきましては、工場やラインの集約化及び製品群の絞り込みや原価低減努力などもあり減収増益(セグメント損失)となりました。

この結果、売上高は2億34百万円（前年同四半期比68.2%減）、セグメント損失(営業損失)は76百万円（前年同四半期は91百万円のセグメント損失）となりました。

⑤その他

その他事業におきましては、缶飲料製造の売上高が減少したことにより、減収減益となりました。

この結果、売上高は3億38百万円（前年同四半期比26.9%減）、セグメント利益(営業利益)は30百万円（前年同四半期比26.5%減）となりました。

なお、記載金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は375億45百万円（前連結会計年度比0.8%増）となりました。

流動資産は、現金及び預金などが減少したものの、販売用不動産や未成工事支出金などが増加したことにより、273億34百万円（前連結会計年度比1.0%増）となりました。固定資産は、前連結会計年度とほぼ同額の102億10百万円（前連結会計年度比0.0%増）となりました。

(負債)

流動負債は、支払手形及び買掛金などが減少したものの、短期借入金やその他に含まれる前受金などが増加したことにより、158億44百万円（前連結会計年度比1.9%増）となりました。固定負債は、長期借入金の増加などにより、16億76百万円（前連結会計年度比1.8%増）となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は200億24百万円（前連結会計年度比0.2%減）となりました。純資産の減少の主な要因は、配当金の支払により利益剰余金が減少したことなどによるものであります。

(自己資本比率)

当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は53.3%（前連結会計年度比0.5ポイント減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、現時点で、2020年5月15日公表の業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,843,228	1,274,107
受取手形及び売掛金	692,861	660,214
商品及び製品	372,823	307,752
仕掛品	2,081	2,081
原材料及び貯蔵品	38,801	40,014
販売用不動産	23,203,697	24,237,030
未成工事支出金	133,760	280,281
その他	768,121	533,922
貸倒引当金	△962	△945
流動資産合計	27,054,413	27,334,459
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	560,722	549,873
土地	1,957,173	1,958,101
その他（純額）	110,502	112,500
有形固定資産合計	2,628,398	2,620,475
無形固定資産	80,851	75,683
投資その他の資産		
投資有価証券	7,063,476	7,071,934
繰延税金資産	134,113	149,335
その他	369,789	362,781
貸倒引当金	△69,139	△69,448
投資その他の資産合計	7,498,240	7,514,603
固定資産合計	10,207,491	10,210,762
資産合計	37,261,904	37,545,222
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,474,839	612,252
短期借入金	11,257,584	12,024,302
1年内返済予定の長期借入金	1,063,968	1,063,968
未払法人税等	160,744	145,407
賞与引当金	54,324	29,112
役員賞与引当金	70,000	—
その他	1,460,060	1,969,257
流動負債合計	15,541,520	15,844,300
固定負債		
長期借入金	1,065,206	1,071,714
その他	582,005	604,939
固定負債合計	1,647,211	1,676,653
負債合計	17,188,731	17,520,954

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	3,555,182	3,555,182
利益剰余金	16,848,486	16,771,309
自己株式	△488,816	△488,816
株主資本合計	20,014,852	19,937,675
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	38,346	66,023
その他の包括利益累計額合計	38,346	66,023
非支配株主持分	19,974	20,568
純資産合計	20,073,173	20,024,268
負債純資産合計	37,261,904	37,545,222

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	2,697,873	3,137,115
売上原価	2,359,588	2,441,220
売上総利益	338,285	695,895
販売費及び一般管理費	428,698	475,535
営業利益又は営業損失(△)	△90,413	220,360
営業外収益		
受取利息	535	70
受取配当金	3,979	5,399
仕入割引	6,050	1,614
匿名組合投資利益	151,781	155,629
受取手数料	1,121	1,618
その他	4,986	11,333
営業外収益合計	168,455	175,664
営業外費用		
支払利息	15,657	18,137
その他	—	2,610
営業外費用合計	15,657	20,747
経常利益	62,384	375,277
特別利益		
固定資産売却益	3,969	399
特別利益合計	3,969	399
特別損失		
固定資産売却損	—	563
固定資産除却損	13,403	—
特別損失合計	13,403	563
税金等調整前四半期純利益	52,950	375,113
法人税、住民税及び事業税	30,180	152,681
法人税等調整額	△12,317	△29,388
法人税等合計	17,863	123,293
四半期純利益	35,087	251,820
非支配株主に帰属する四半期純利益	42	594
親会社株主に帰属する四半期純利益	35,045	251,225

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	35,087	251,820
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,771	27,677
その他の包括利益合計	△1,771	27,677
四半期包括利益	33,316	279,497
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	33,274	278,903
非支配株主に係る四半期包括利益	42	594

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	レジデンス 事業	不動産開発 事業	賃貸・管理等 事業	マテリアル 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	524,663	478,504	493,554	737,379	2,234,101	463,772	2,697,873
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	1,500	34,077	35,577	19,253	54,831
計	524,663	478,504	495,054	771,456	2,269,679	483,026	2,752,705
セグメント利益又は損失(△)	△111	△7,029	67,937	△91,119	△30,323	41,604	11,281

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料製造事業、飲食事業、衣料品事業及び保険代理店事業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△30,323
「その他」の区分の利益	41,604
セグメント間取引消去	4,580
全社費用(注)	△106,274
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△90,413

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	レジデンス 事業	不動産開発 事業	賃貸・管理等 事業	マテリアル 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	247,809	1,806,831	508,686	234,793	2,798,121	338,993	3,137,115
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	1,500	98,237	99,737	974	100,711
計	247,809	1,806,831	510,186	333,031	2,897,859	339,967	3,237,827
セグメント利益又は損失 (△)	24,422	393,029	27,012	△76,500	367,963	30,568	398,532

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料製造事業、飲食事業、衣料品事業及び保険代理店事業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	367,963
「その他」の区分の利益	30,568
セグメント間取引消去	5,344
全社費用(注)	△183,516
四半期連結損益計算書の営業利益	220,360

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(重要な後発事象)

(譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分)

当社は、2020年7月13日開催の取締役会において、当社の取締役(社外取締役を除く。)に対する譲渡制限付株式報酬としての自己株式処分を行うことを決議し、次のとおり、自己株式の処分を実施いたしました。

1. 処分の概要

- | | |
|------------------|--|
| (1) 処分期日 | 2020年7月30日 |
| (2) 処分する株式の種類及び数 | 当社普通株式 200,000株 |
| (3) 処分価額 | 1株につき883円 |
| (4) 処分総額 | 176,600,000円 |
| (5) 処分子定先 | 当社の取締役(※) 2名 200,000株 ※社外取締役を除く。 |
| (6) その他 | 本自己株式処分については、金融商品取引法に基づく有価証券届出書の効力発生を条件とします。 |

2. 処分の目的及び理由

当社は、2019年5月8日開催の当社取締役会において、当社の取締役（社外取締役を除く。）が、株価変動のメリットとリスクを株主の皆様と共有し、株価上昇及び企業価値向上への貢献意欲を従来以上に高めることを目的として、当社の取締役（社外取締役を除く。）に対し、譲渡制限付株式を交付する株式報酬制度（以下、「本制度」という。）を導入することを決議し、また、2019年6月18日開催の当社第51期定時株主総会において、本制度に基づき、当社の取締役（社外取締役を除く。）に対する譲渡制限付株式に関する報酬等として支給する金銭報酬債権の総額を年額200,000千円以内として設定すること、当社の取締役（社外取締役を除く。）に対して各事業年度において割り当てる譲渡制限付株式の総数は200,000株を上限とすること及び譲渡制限付株式の譲渡制限期間を3年間とすること等につき、ご承認をいただいております。